

# 四半期報告書

(第53期第1四半期)

自 平成22年4月1日  
至 平成22年6月30日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

(E00985)

# 目 次

頁

表 紙

|     |                                  |    |
|-----|----------------------------------|----|
| 第一部 | 企業情報 .....                       | 1  |
| 第1  | 企業の概況 .....                      | 1  |
| 1   | 主要な経営指標等の推移 .....                | 1  |
| 2   | 事業の内容 .....                      | 1  |
| 3   | 関係会社の状況 .....                    | 1  |
| 4   | 従業員の状況 .....                     | 2  |
| 第2  | 事業の状況 .....                      | 3  |
| 1   | 生産、受注及び販売の状況 .....               | 3  |
| 2   | 事業等のリスク .....                    | 4  |
| 3   | 経営上の重要な契約等 .....                 | 4  |
| 4   | 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 ..... | 5  |
| 第3  | 設備の状況 .....                      | 7  |
| 第4  | 提出会社の状況 .....                    | 8  |
| 1   | 株式等の状況 .....                     | 8  |
| (1) | 株式の総数等 .....                     | 8  |
| (2) | 新株予約権等の状況 .....                  | 8  |
| (3) | 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 .....  | 8  |
| (4) | ライツプランの内容 .....                  | 8  |
| (5) | 発行済株式総数、資本金等の推移 .....            | 8  |
| (6) | 大株主の状況 .....                     | 8  |
| (7) | 議決権の状況 .....                     | 9  |
| 2   | 株価の推移 .....                      | 9  |
| 3   | 役員の状況 .....                      | 9  |
| 第5  | 経理の状況 .....                      | 10 |
| 1   | 四半期連結財務諸表 .....                  | 11 |
| (1) | 四半期連結貸借対照表 .....                 | 11 |
| (2) | 四半期連結損益計算書 .....                 | 13 |
| (3) | 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....          | 14 |
| 2   | その他 .....                        | 19 |
| 第二部 | 提出会社の保証会社等の情報 .....              | 20 |

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

|            |   |
|------------|---|
| 【提出書類】     | 四半期報告書  |
| 【根拠条文】     | 金融商品取引法第24条の4の7第1項  |
| 【提出先】      | 関東財務局長  |
| 【提出日】      | 平成22年8月13日  |
| 【四半期会計期間】  | 第53期第1四半期（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）  |
| 【会社名】      | キョーリン製薬ホールディングス株式会社<br>（旧会社名 株式会社キョーリン）   |
| 【英訳名】      | KYORIN Holdings, Inc.<br>（旧英訳名 KYORIN Co., Ltd.）<br><br>（注）平成22年6月24日開催の第52回定時株主総会の決議により、平成22年7月1日から会社名を上記のとおり変更いたしました。 |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 山下 正弘   |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地  |
| 【電話番号】     | 03-3293-3451（代表）  |
| 【事務連絡者氏名】  | 常務執行役員 グループ経理財務統轄部長 伊藤 洋  |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地  |
| 【電話番号】     | 03-3293-3420  |
| 【事務連絡者氏名】  | 常務執行役員 グループ経理財務統轄部長 伊藤 洋  |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所<br>（東京都中央区日本橋兜町2番1号）  |

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

| 回次                            | 第52期<br>第1四半期連結<br>累計(会計)期間 | 第53期<br>第1四半期連結<br>累計(会計)期間 | 第52期                      |
|-------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 会計期間                          | 自平成21年4月1日<br>至平成21年6月30日   | 自平成22年4月1日<br>至平成22年6月30日   | 自平成21年4月1日<br>至平成22年3月31日 |
| 売上高(百万円)                      | 23,289                      | 24,655                      | 99,764                    |
| 経常利益(百万円)                     | 3,417                       | 2,421                       | 14,234                    |
| 四半期(当期)純利益(百万円)               | 1,976                       | 1,799                       | 8,848                     |
| 純資産額(百万円)                     | 98,416                      | 103,700                     | 104,911                   |
| 総資産額(百万円)                     | 128,711                     | 132,696                     | 137,190                   |
| 1株当たり純資産額(円)                  | 1,316.36                    | 1,387.43                    | 1,403.60                  |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)          | 26.44                       | 24.07                       | 118.37                    |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)   | —                           | —                           | —                         |
| 自己資本比率(%)                     | 76.5                        | 78.1                        | 76.5                      |
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー(百万円)     | 5,940                       | 1,432                       | 12,027                    |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー(百万円)     | △698                        | △253                        | 412                       |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー(百万円)     | △2,154                      | △2,983                      | △3,297                    |
| 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高<br>(百万円) | 15,551                      | 19,733                      | 21,556                    |
| 従業員数(人)                       | 2,290                       | 2,315                       | 2,246                     |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、当社は平成22年7月1日付けで(株)キョーリンからキョーリン製薬ホールディングス(株)に商号変更いたしました。

#### 3【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

#### 4 【従業員の状況】

##### (1) 連結会社の状況

平成22年6月30日現在

|         |       |
|---------|-------|
| 従業員数（人） | 2,315 |
|---------|-------|

（注）従業員数は、就業人員数であります。

##### (2) 提出会社の状況

平成22年6月30日現在

|         |    |
|---------|----|
| 従業員数（人） | 61 |
|---------|----|

（注）1. 従業員数は、就業人員数であります。

2. 従業員数が前事業年度末に比べ41名減少していますが、その主な理由は、グループ経営の更なる推進に向け、戦略機能の発揮、運営を強化するため組織を変更したことによるものであります。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第1四半期連結会計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

| セグメントの名称 |         | 当第1四半期連結会計期間<br>(自 平成22年4月1日<br>至 平成22年6月30日) | 前年同四半期比 (%) |
|----------|---------|---|-------------|
| 医薬品事業    | 新薬      | 18,350  | —           |
|          | 後発品     | 1,656   | —           |
|          | 医療用医薬品  | 20,007  | —           |
|          | 一般用医薬品他 | 658   | —           |
|          | 医薬品事業計  | 20,666  | —           |
| ヘルスケア事業  |         | —   | —           |
| 合計       |         | 20,666  | —           |

(注) 上記金額は、消費税等抜きの売価換算によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。

#### (2) 商品仕入実績

当第1四半期連結会計期間の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

| セグメントの名称 |         | 当第1四半期連結会計期間<br>(自 平成22年4月1日<br>至 平成22年6月30日) | 前年同四半期比 (%) |
|----------|---------|---|-------------|
| 医薬品事業    | 新薬      | 373   | —           |
|          | 後発品     | 682   | —           |
|          | 医療用医薬品  | 1,055   | —           |
|          | 一般用医薬品他 | 302   | —           |
|          | 医薬品事業計  | 1,358   | —           |
| ヘルスケア事業  |         | 262   | —           |
| 合計       |         | 1,620   | —           |

(注) 上記金額は、消費税等抜きの実際仕入れ額によっております。

#### (3) 受注状況

当社グループ（当社及び当社の連結子会社）は販売計画に基づいた生産を行っておりますので、該当事項はありません。

#### (4) 販売実績

当第1四半期連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

| セグメントの名称 |         | 当第1四半期連結会計期間<br>(自 平成22年4月1日<br>至 平成22年6月30日) | 前年同四半期比 (%) |
|----------|---------|---|-------------|
| 医薬品事業    | 新薬      | 20,794  | —           |
|          | 後発品     | 2,145   | —           |
|          | 医療用医薬品  | 22,939  | —           |
|          | 一般用医薬品他 | 1,015   | —           |
| 医薬品事業計   |         | 23,955  | —           |
| ヘルスケア事業  |         | 699   | —           |
| 合計       |         | 24,655  | —           |

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 前第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

| 相手先               | 前第1四半期連結会計期間<br>(自 平成21年4月1日<br>至 平成21年6月30日) |        | 当第1四半期連結会計期間<br>(自 平成22年4月1日<br>至 平成22年6月30日) |        |
|-------------------|---|--------|---|--------|
|                   | 金額 (百万円)                                      | 割合 (%) | 金額 (百万円)                                      | 割合 (%) |
| アルフレッサ株式会社        | 3,967   | 17.0   | 4,204   | 17.1   |
| 株式会社スズケン          | 3,930   | 16.9   | 4,098   | 16.6   |
| 株式会社メディパルホールディングス | 3,256   | 14.0   | 3,592   | 14.6   |
| 東邦薬品株式会社          | 2,849   | 12.2   | 3,230   | 13.1   |

3. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

#### 2【事業等のリスク】

当第1四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

#### 3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

#### 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

##### (1) 業績の状況

当社グループの中核事業が属する国内医薬品業界の当第1四半期連結会計期間は、本年度4月に実施された薬価基準の改定（業界平均実質：約6.5%、杏林製薬：6%台）の影響や継続的に実施される医療費・薬剤費抑制を目的とした諸施策により、経営環境がこれまで以上に厳しさを増しました。

このような状況の下、当社グループは、今年度、新中期経営計画「HOPE100-ステージ1-（平成22年度～平成27年度）」をスタートし、「新たな事業モデルによる医薬事業の推進」「ヘルスケア事業の育成と新規事業の創出」等に積極的に取り組んでまいりました。

医薬品事業では、医療用医薬品の薬価改定の影響はあったものの、国内新医薬品におきましては主要製品の普及の拡大に努め、後発医薬品では市場ニーズに応える営業展開を推進し、売上は順調に推移しました。ヘルスケア事業では、需要減少の影響等により売上が低迷致しました。この結果、売上高は246億55百万円と前年同期比13億65百万円（前年同期比5.9%増）の増収となりました。

利益面では、売上の増加により売上総利益は8億65百万円増加したものの、販売費及び一般管理費が研究開発費の増加等により18億05百万円増加（前年同期比15.8%増）したため、営業利益は22億16百万円と前年同期比9億39百万円（前年同期比29.8%減）の減益となりました。また経常利益は24億21百万円（前年同期比29.2%減）、当四半期純利益は17億99百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

当第1四半期連結会計期間の業績は下記の通りとなりました。

|         |           |        |         |
|---------|-----------|--------|---------|
| 売上高     | 246億55百万円 | （前年同期比 | 5.9%増）  |
| 営業利益    | 22億16百万円  | （前年同期比 | 29.8%減） |
| 経常利益    | 24億21百万円  | （前年同期比 | 29.2%減） |
| 当四半期純利益 | 17億99百万円  | （前年同期比 | 9.0%減）  |

セグメントの業績は、次のとおりであります。

##### ①医薬品事業

国内新医薬品では、特定のユーザー（呼吸器内科・耳鼻科・泌尿器科が中心）に営業活動を重点化するフランチャイズカスタマー戦略及び卸店政策の更なる強化により、販売力の効率的な発揮に努めた結果、売上高は201億67百万円となりました。主要製品では、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「キプレス」、気道粘液調整・粘膜正常化剤「ムコダイン」、潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「ペンタサ」、過活動膀胱治療剤「ウリトス」が前年を上回る実績で推移しました。

海外新医薬品では、広範囲抗菌点眼剤「ザイマー（導出先：米国アラガン社）」の売上は若干前年を下回りましたが、その他製品の売上増加により、売上高は6億26百万円となりました。

後発（ジェネリック）医薬品では、本年4月より推進されている後発品の使用促進策（薬局の調剤基本料における後発医薬品調剤体制加算の見直し）等により市場の拡大が進展する中、当社グループの後発医薬品は重点製品が好調に推移し、売上高は21億45百万円となりました。

一般用医薬品他では、哺乳びん殺菌消毒剤「ミルトン」への営業力を強化するとともに、主要製品の販売促進活動等を行い、売上高は10億15百万円となりました。

この結果、当セグメントの売上高は239億55百万円となり、営業利益は21億40百万円となりました。

##### ②ヘルスケア事業

ヘルスケア事業は、ナノカプセル技術を応用したスキンケア事業を行うドクタープログラム㈱の売上が、需要減少の影響等により低迷しました。

この結果、当セグメントの売上高は6億99百万円となり、営業損失は22百万円となりました。

##### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、14億32百万円の収入（前年同期比45億07百万円収入の減少）であり、これは主に税金等調整前四半期純利益24億25百万円、減価償却費5億69百万円、売上債権の減少18億89百万円、たな卸資産の減少11億82百万円、法人税等の支払額43億79百万円によるものです。

当第1四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、2億53百万円の支出（前年同期比4億44百万円支出の減少）であり、これは主に投資有価証券の取得による支出12億01百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入9億05百万円によるものです。

当第1四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、29億83百万円の支出（前年同期比8億28百万円支出の増加）であり、これは主に長期借入金の返済による支出78百万円、配当金の支払による支出



28億43百万円によるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して18億23百万円減少し、197億33百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当社グループでは、特定領域において自社創製品、導入品、既存品のライフサイクルマネジメントにより魅力ある製品パイプラインの構築に努めています。マーケットインの発想に基づき、研究開発プロセスの改革に取り組むと共に、グループ内の杏林製薬(株)創薬研究所(日本)、ActiVX社(米国)、キョーリンスコットランド研究所(英国)は基より、外部との積極的なコラボレーションを推進し、グローバル創薬ネットワークの再構築に取り組んでいます。また自社創薬の研究領域(呼吸器・泌尿器・感染症、その他)の重点化により、資源を集中的に投入することで効率的かつ効果的な創薬を推進しています。

国内開発の進捗状況としましては、平成22年4月に気管支喘息治療薬「KRP-108」のPh II b臨床試験を終了しました。また、耳鳴治療剤「KRP-209」、オピオイド誘発性便秘治療剤「KRP-110」の臨床試験入りの準備を進めました。その結果、当第1四半期連結会計期間における研究開発費は41億44百万円(前年同期比89.3%増)となりました。

### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### ①【株式の総数】

| 種類   | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 297,000,000 |
| 計    | 297,000,000 |

##### ②【発行済株式】

| 種類   | 第1四半期会計期間末現在発行数(株)<br>(平成22年6月30日) | 提出日現在発行数(株)<br>(平成22年8月13日) | 上場金融商品取引所名<br>又は登録認可金融商品<br>取引業協会名 | 内容              |
|------|------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|-----------------|
| 普通株式 | 74,947,628                         | 同左                          | 東京証券取引所<br>市場第一部                   | 単元株式数<br>1,000株 |
| 計    | 74,947,628                         | 同左                          | —                                  | —               |

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日                      | 発行済株式<br>総数増減数<br>(株) | 発行済株式<br>総数残高<br>(株) | 資本金増減額<br>(百万円) | 資本金残高<br>(百万円) | 資本準備金<br>増減額<br>(百万円) | 資本準備金<br>残高<br>(百万円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 平成22年4月1日～<br>平成22年6月30日 | —                     | 74,947,628           | —               | 700            | —                     | 78,185               |

#### (6)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

### (7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成22年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

#### ① 【発行済株式】

平成22年6月30日現在

| 区分             | 株式数（株）                   | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|--------------------------|----------|----|
| 無議決権株式         | —                        | —        | —  |
| 議決権制限株式（自己株式等） | —                        | —        | —  |
| 議決権制限株式（その他）   | —                        | —        | —  |
| 完全議決権株式（自己株式等） | （自己保有株式）<br>普通株式 198,000 | —        | —  |
|                | （相互保有株式）<br>普通株式 15,000  | —        | —  |
| 完全議決権株式（その他）   | 普通株式 73,706,000          | 73,706   | —  |
| 単元未満株式         | 普通株式 1,028,628           | —        | —  |
| 発行済株式総数        | 74,947,628               | —        | —  |
| 総株主の議決権        | —                        | 73,706   | —  |

#### ② 【自己株式等】

平成22年6月30日現在

| 所有者の氏名又は名称              | 所有者の住所                 | 自己名義<br>所有株式数<br>(株) | 他人名義<br>所有株式数<br>(株) | 所有株式<br>数の合計<br>(株) | 発行済株式総数に<br>対する所有株式数<br>の割合 (%) |
|-------------------------|------------------------|----------------------|----------------------|---------------------|---------------------------------|
| （自己保有株式）<br>株式会社キョーリン   | 東京都千代田区神田駿河台<br>2丁目5番地 | 198,000              | —                    | 198,000             | 0.26                            |
| （相互保有株式）<br>日本理化学薬品株式会社 | 東京都中央区日本橋本町<br>4丁目2番2号 | 15,000               | —                    | 15,000              | 0.02                            |
| 計                       | —                      | 213,000              | —                    | 213,000             | 0.28                            |

(注) 当社は平成22年7月1日付けで㈱キョーリンからキョーリン製薬ホールディングス㈱に商号変更いたしました。

### 2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

| 月別    | 平成22年4月 | 5月    | 6月    |
|-------|---------|-------|-------|
| 最高（円） | 1,370   | 1,363 | 1,287 |
| 最低（円） | 1,324   | 1,213 | 1,209 |

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

### 3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び前第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び前第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第1四半期連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

|             | 当第1四半期連結会計期間末<br>(平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>(平成22年3月31日) |
|-------------|-------------------------------|--|
| <b>資産の部</b> |                               |  |
| 流動資産        |                               |  |
| 現金及び預金      | 18,106                        | 20,193                                   |
| 受取手形及び売掛金   | 34,969                        | 36,859                                   |
| 有価証券        | 6,562                         | 5,353                                    |
| 商品及び製品      | 9,817                         | 11,068                                   |
| 仕掛品         | 1,200                         | 1,195                                    |
| 原材料及び貯蔵品    | 9,674                         | 9,609                                    |
| 繰延税金資産      | 3,158                         | 2,616                                    |
| その他         | 4,585                         | 4,232                                    |
| 貸倒引当金       | △62                           | △69                                      |
| 流動資産合計      | 88,011                        | 91,060                                   |
| 固定資産        |                               |  |
| 有形固定資産      | ※1 15,433                     | ※1 15,825                                |
| 無形固定資産      |                               |  |
| のれん         | 477                           | 552                                      |
| その他         | 454                           | 471                                      |
| 無形固定資産合計    | 931                           | 1,024                                    |
| 投資その他の資産    |                               |  |
| 投資有価証券      | 22,950                        | 23,779                                   |
| 繰延税金資産      | 4,101                         | 4,188                                    |
| その他         | 1,703                         | 1,743                                    |
| 貸倒引当金       | △436                          | △432                                     |
| 投資その他の資産合計  | 28,319                        | 29,278                                   |
| 固定資産合計      | 44,684                        | 46,129                                   |
| 資産合計        | 132,696                       | 137,190                                  |

(単位：百万円)

|              | 当第1四半期連結会計期間末<br>(平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>(平成22年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| <b>負債の部</b>  |                               |  |
| 流動負債         |                               |  |
| 支払手形及び買掛金    | 7,885                         | 9,858                                    |
| 短期借入金        | 2,752                         | 2,795                                    |
| 未払法人税等       | 1,192                         | 4,501                                    |
| 賞与引当金        | 1,590                         | 3,043                                    |
| 返品調整引当金      | 55                            | 114                                      |
| ポイント引当金      | 56                            | 57                                       |
| その他          | 9,688                         | 5,827                                    |
| 流動負債合計       | 23,222                        | 26,198                                   |
| 固定負債         |                               |  |
| 社債           | —                             | 30                                       |
| 長期借入金        | 523                           | 572                                      |
| 退職給付引当金      | 4,249                         | 4,394                                    |
| 役員退職慰労引当金    | 16                            | 53                                       |
| その他          | 984                           | 1,028                                    |
| 固定負債合計       | 5,773                         | 6,079                                    |
| 負債合計         | 28,995                        | 32,278                                   |
| <b>純資産の部</b> |                               |  |
| 株主資本         |                               |  |
| 資本金          | 700                           | 700                                      |
| 資本剰余金        | 4,752                         | 4,752                                    |
| 利益剰余金        | 98,548                        | 99,738                                   |
| 自己株式         | △285                          | △283                                     |
| 株主資本合計       | 103,714                       | 104,907                                  |
| 評価・換算差額等     |                               |  |
| その他有価証券評価差額金 | 116                           | 138                                      |
| 為替換算調整勘定     | △130                          | △134                                     |
| 評価・換算差額等合計   | △14                           | 3  |
| 純資産合計        | 103,700                       | 104,911                                  |
| 負債純資産合計      | 132,696                       | 137,190                                  |

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

|                 | 前第1四半期連結累計期間<br>(自平成21年4月1日<br>至平成21年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間<br>(自平成22年4月1日<br>至平成22年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高             | 23,289                                      | 24,655                                      |
| 売上原価            | 8,671                                       | 9,171                                       |
| 売上総利益           | 14,618                                      | 15,483                                      |
| 販売費及び一般管理費      | ※1 11,461                                   | ※1 13,267                                   |
| 営業利益            | 3,156                                       | 2,216                                       |
| 営業外収益           |   |   |
| 受取利息            | 89  | 71  |
| 受取配当金           | 43  | 48  |
| 受取賃貸料           | 69  | 68  |
| 持分法による投資利益      | 3   | 14  |
| 為替差益            | —   | 4   |
| その他             | 83  | 9   |
| 営業外収益合計         | 289   | 217   |
| 営業外費用           |   |   |
| 支払利息            | 13  | 12  |
| 為替差損            | 10  | —   |
| その他             | 3   | 0   |
| 営業外費用合計         | 28  | 13  |
| 経常利益            | 3,417                                       | 2,421                                       |
| 特別利益            |   |   |
| 貸倒引当金戻入額        | 11  | —   |
| 投資有価証券売却益       | —   | 6   |
| 特別利益合計          | 11  | 6   |
| 特別損失            |   |   |
| 固定資産除売却損        | 8   | 0   |
| 投資有価証券売却損       | —   | 0   |
| 投資有価証券評価損       | —   | 0   |
| ゴルフ会員権評価損       | —   | 1   |
| 特別損失合計          | 8   | 2   |
| 税金等調整前四半期純利益    | 3,421                                       | 2,425                                       |
| 法人税、住民税及び事業税    | 2,062                                       | 1,069                                       |
| 法人税等調整額         | △617  | △443  |
| 法人税等合計          | 1,445                                       | 626   |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | —   | 1,799                                       |
| 四半期純利益          | 1,976                                       | 1,799                                       |



## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

|                         | 前第1四半期連結累計期間<br>(自 平成21年4月1日<br>至 平成21年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間<br>(自 平成22年4月1日<br>至 平成22年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b> |   |   |
| 税金等調整前四半期純利益            | 3,421   | 2,425   |
| 減価償却費                   | 669   | 569   |
| 受取利息及び受取配当金             | △133  | △120  |
| 支払利息                    | 13  | 12  |
| 売上債権の増減額 (△は増加)         | 1,645   | 1,889   |
| たな卸資産の増減額 (△は増加)        | △766  | 1,182   |
| 仕入債務の増減額 (△は減少)         | 1,083   | △1,973  |
| その他                     | 834   | 1,714   |
| 小計                      | 6,768   | 5,700   |
| 利息及び配当金の受取額             | 135   | 123   |
| 利息の支払額                  | △16   | △11   |
| 法人税等の支払額                | △947  | △4,379  |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー        | 5,940   | 1,432   |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b> |   |   |
| 有価証券の売却及び償還による収入        | 800   | 500   |
| 有形固定資産の取得による支出          | △119  | △300  |
| 無形固定資産の取得による支出          | △15   | △42   |
| 投資有価証券の取得による支出          | △1,499  | △1,201  |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入      | 0   | 905   |
| その他                     | 134   | △115  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー        | △698  | △253  |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b> |   |   |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少)       | △1,420  | △14   |
| 長期借入金の返済による支出           | △74   | △78   |
| 配当金の支払額                 | △638  | △2,843  |
| その他                     | △20   | △47   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー        | △2,154  | △2,983  |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額        | 100   | △19   |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)    | 3,187   | △1,823  |
| 現金及び現金同等物の期首残高          | 12,363  | 21,556  |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高        | ※1 15,551                                     | ※1 19,733                                     |

**【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】**

|                 |  |
|-----------------|--|
|                 | 当第1四半期連結会計期間<br>(自 平成22年4月1日<br>至 平成22年6月30日)  |
| 会計処理基準に関する事項の変更 | (1)「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用<br>当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号平成20年3月10日)を適用しております。<br>なお、これによる経常利益及び税金等調整前四半期純利益に及ぼす影響はございません。 |
|                 | (2)資産除去債務に関する会計基準の適用<br>当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。<br>なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。                       |

**【表示方法の変更】**

|              |   |
|--------------|---|
|              | 当第1四半期連結会計期間<br>(自 平成22年4月1日<br>至 平成22年6月30日)   |
| (四半期連結損益計算書) | 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。 |

**【簡便な会計処理】**

該当事項はありません。

**【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】**

該当事項はありません。

**【追加情報】**

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

| 当第1四半期連結会計期間末<br>(平成22年6月30日)  | 前連結会計年度末<br>(平成22年3月31日)   |
|--|--|
| ※1 有形固定資産の減価償却累計額は、35,639百万円<br>であります。<br>減価償却累計額には減損損失累計額が含まれて<br>おります。 | ※1 有形固定資産の減価償却累計額は、35,166百万円<br>であります。<br>減価償却累計額には減損損失累計額が含まれて<br>おります。 |

(四半期連結損益計算書関係)

| 前第1四半期連結累計期間<br>(自平成21年4月1日<br>至平成21年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間<br>(自平成22年4月1日<br>至平成22年6月30日) |
|---|---|
| ※1 販売費および一般管理費のうち主要な費目及び金<br>額は次のとおりです。     | ※1 販売費および一般管理費のうち主要な費目及び金<br>額は次のとおりです。     |
| 賞与引当金繰入額 965百万円                             | 賞与引当金繰入額 1,008百万円                           |
| 退職給付費用 380百万円                               | 退職給付費用 352百万円                               |
| 研究開発費 2,189百万円                              | 研究開発費 4,144百万円                              |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前第1四半期連結累計期間<br>(自平成21年4月1日<br>至平成21年6月30日)                           | 当第1四半期連結累計期間<br>(自平成22年4月1日<br>至平成22年6月30日)                           |
|---|---|
| ※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結<br>貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係<br>(平成21年6月30日現在) | ※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結<br>貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係<br>(平成22年6月30日現在) |
| 現金及び預金勘定 15,110百万円  | 現金及び預金勘定 18,106百万円  |
| 有価証券勘定 1,262百万円   | 有価証券勘定 2,862百万円   |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期<br>預金 △821百万円  | 預入期間が3ヶ月を超える定期<br>預金 △1,235百万円  |
| 現金及び現金同等物 15,551百万円   | 現金及び現金同等物 19,733百万円   |

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成22年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日  
至平成22年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 74,947千株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 204千株

3. 配当に関する事項

配当金支払額

| (決議)               | 株式の種類 | 配当金の総額<br>(百万円) | 1株当たり<br>配当額<br>(円) | 基準日        | 効力発生日      | 配当の原資 |
|--------------------|-------|-----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成22年5月25日<br>取締役会 | 普通株式  | 2,989           | 40.0                | 平成22年3月31日 | 平成22年6月10日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

**【事業の種類別セグメント情報】**

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

医薬品事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

**【所在地別セグメント情報】**

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

**【海外売上高】**

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービスの類似性から区分される「医薬品事業」と「ヘルスケア事業」の2つを報告セグメントとしております。「医薬品事業」は、主に新医薬品、後発医薬品と一般用医薬品の製造、販売と仕入を行っており、「ヘルスケア事業」は、主にスキンケア商品の販売と仕入を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

（単位：百万円）

|                       | 報告セグメント |             |        | 調整額<br>(注) 1 | 四半期連結<br>損益計算書<br>計上額<br>(注) 2 |
|-----------------------|---------|-------------|--------|--------------|--------------------------------|
|                       | 医薬品事業   | ヘルスケア<br>事業 | 合計     |              |                                |
| 売上高                   |         |             |        |              |                                |
| 外部顧客への売上高             | 23,955  | 699         | 24,655 | —            | 24,655                         |
| セグメント間の内部売上高又は<br>振替高 | 6       | 0           | 6      | △6           | —                              |
| 計                     | 23,961  | 700         | 24,661 | △6           | 24,655                         |
| セグメント利益又は損失（△）        | 2,140   | △22         | 2,117  | 99           | 2,216                          |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額99百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(金融商品関係)

前連結会計年度の末日に比べて著しい変動はありません。

(有価証券関係)

前連結会計年度の末日に比べて著しい変動はありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

| 当第1四半期連結会計期間末<br>(平成22年6月30日) |           | 前連結会計年度末<br>(平成22年3月31日) |           |
|-------------------------------|-----------|--------------------------|-----------|
| 1株当たり純資産額                     | 1,387.43円 | 1株当たり純資産額                | 1,403.60円 |

2. 1株当たり四半期純利益金額等

| 前第1四半期連結累計期間<br>(自平成21年4月1日<br>至平成21年6月30日)      |        | 当第1四半期連結累計期間<br>(自平成22年4月1日<br>至平成22年6月30日)      |        |
|--|--------|--|--------|
| 1株当たり四半期純利益金額                                    | 26.44円 | 1株当たり四半期純利益金額                                    | 24.07円 |
| なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。 |        | なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。 |        |

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

|                    | 前第1四半期連結累計期間<br>(自平成21年4月1日<br>至平成21年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間<br>(自平成22年4月1日<br>至平成22年6月30日) |
|--------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額      |   |   |
| 四半期純利益(百万円)        | 1,976                                       | 1,799                                       |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円)  | —   | —   |
| 普通株式に係る四半期純利益(百万円) | 1,976                                       | 1,799                                       |
| 期中平均株式数(株)         | 74,765,393                                  | 74,743,474                                  |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

(剰余金の配当)

平成22年5月25日開催の取締役会において、剰余金の配当(期末)を行うことを次のとおり決議いたしました。

| (決議)               | 配当金の総額(百万円) | 1株当たり配当額(円) |
|--------------------|-------------|-------------|
| 平成22年5月25日<br>取締役会 | 2,989       | 40.0        |

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年8月13日

株式会社キョーリン  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 園 マリ 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 中島 康晴 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社キョーリンの平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社キョーリン及び連結子会社の平成21年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。



# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年8月13日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 園 マリ 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 加藤 秀満 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているキョーリン製薬ホールディングス株式会社の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、キョーリン製薬ホールディングス株式会社及び連結子会社の平成22年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。